

# 学位申請説明会

- 第1回2021年 4月22日(木)Zoom  
第2回2021年 7月26日(月)Zoom予定  
第3回2021年 8月27日(金)Zoom予定

17:00~18:00

①課程博士について

18:00~18:30

②短縮修了について

学務課大学院係

# 学位申請の資格と条件について(申請要領より抜粋)

## 1. 申請資格

学位を申請できる者は、次の各号の一に該当するものであること。

- (1) 本学博士課程に4年以上在学(休学期間を除く)し、所定の授業科目を履修して30単位以上を修得し、大学院研究発表会にて予備審査を終了し、かつ、必要な研究指導を受けた者で、本年度に修了を予定している者
- (2) 本学博士課程に4年以上在学(休学期間を除く)し、所定の授業科目を履修して30単位以上を修得し、大学院研究発表会にて予備審査を終了し、かつ、必要な研究指導を受け退学した者が、在学年限(休学期間を除く)を通算して7年以内に博士学位を申請する者  
ただし、この場合論文が、所定の期間内(7年以内)に受理されることが条件となる。

## 2. 申請条件

- (1)-1 原則として本研究科が行う大学院研究発表会(6月及び11月の年2回実施)において、提出する論文の発表を行い予備審査を終了した者  
この予備審査(研究発表会)の有効期間は、予備審査(研究発表会)終了後翌年度4月から起算して24ヶ月以内の受理審議とする。
- (1)-2 満期退学後、大学院研究発表会(予備審査)の有効期間が切れた者は、年2回(6月または11月)開催の大学院研究発表会にて発表を行なうか、または事前に指導教員と相談の上、以下のとおり公開の予備審査発表会を実施し、予備審査を終了しなければならない。
  - ア. 指導教員と相談の上、予備審査委員候補者名簿を作成し、大学院係へ提出する。
  - イ. 大学院教育委員会にて選出された予備審査委員3名および指導教員が出席可能な予備審査発表会日時(1時間)および公開可能な発表会場を確保の上、予備審査発表会公示様式を作成し、予備審査発表会開催の2週間前までに大学院係へ提出すること。
  - ウ. 予備審査発表会実施後、予備審査委員3名および指導教員の予備審査発表会実施結果(審査委員は可否判断のみ、可の場合のみ署名押印。指導教員は実施確認の署名押印。)を所定様式にて大学院係へ提出すること。
  - エ. 予備審査は、3名の審査委員全員が可と判断したことをもって終了とする。
  - オ. 予備審査発表会実施後は、速やかに学位申請(事項3. 提出書類)を行うこと。
  - カ. この予備審査の有効期間は、予備審査終了後翌月から起算して24ヶ月以内の受理審議とする。
  - キ. 複数の筆頭著者に係る同意書(兼誓約書)が提出された場合は、当該学位申請受理審議前の大学院教育委員会にて、筆頭著者として認めて良いかを別途審議する。
- (2) 本研究科が定めた期日までに論文提出が可能なる者
- (3) 提出する学位論文は、次の各号に該当するもの。
  - ア. 論文は、本研究科以外の大学院へ学位論文として提出したことがないもの。
  - イ. 論文は、査読付き英文論文誌(以下、英文誌とする)に受理され、原則として印刷公表されたもの。ただし、印刷公表未済のものでも、英文誌編集者からの受理証明書又は掲載予定証明書添付のものは、この限りでない。
  - ウ. 論文は筆頭著者であり、かつ、著者の所属に必ず名古屋大学大学院医学系研究科の所属であることが明記されていること。筆頭著者が複数の場合は他の筆頭著者及び責任著者の同意書(兼誓約書)が提出されていること。
  - エ. 原則として、学位論文は、MEDLINE、かつ、Web of ScienceのSCIEに収載されている英文誌に掲載されたもののみとする。MEDLINEならびにSCIEに収載されていない英文誌については受理審査時に判定を行う。

# 学位取得の修了スケジュール(4月入学4年生)

3年生の研究発表会で既に発表済  
4年生の6月の研究発表会で発表

3年生の6月or11月  
4年生の6月

8~11月

11月

12月~  
2月

3月

論文投稿・論文アクセプト

研究発表会

論文投稿

論文  
(アクセプト)

学位申請

教授会  
(2回)

学位授与

4年生の11月の研究発表会で発表

11月~12月

12月~  
1月

1月~  
2月

3月

論文投稿

論文  
(アクセプト)

研究発表会  
(11月)

学位申請

教授会  
(2回)

学位授与

# 学位申請の概要(課程博士)

## 【受理審議まで】

### ①研究発表会にて予備審査終了

(有効期限切れ後は**研究発表会にて再発表**もしくは**公示による個別の公開発表会**に合格していること。)

### 予備審査(研究発表会)の有効期間

予備審査(研究発表会)の有効期限は、予備審査(研究発表会)を行った翌年度4月から起算して24ヶ月以内の受理審議までとする。

### ②雑誌に投稿して正式な受理が決定(掲載雑誌の発行年月がわかっていた方がよい)

### ③短縮修了希望の場合は、短縮修了書類を作成し大学院係へ書類提出

### ④受理審議書類作成開始

書類提出前に、**指導教員(原則:指導教授)**が教授会に出席可能か確認をする

(申請者本人が確認すること)

### 申請書類作成

主論文の要旨作成、生協印刷部にPDFの作成を依頼する

(依頼方法・連絡先は別紙参照)

申請書類フォーマットは下記よりダウンロードできます(手書き不可)

医学系研究科HPメインメニュー → 大学院教育 → 学位申請手続 → 課程博士

[https://www.med.nagoya-u.ac.jp/medical\\_J/graduate/apply/degree/](https://www.med.nagoya-u.ac.jp/medical_J/graduate/apply/degree/)



⑤大学院係へ受理審議書類提出 要予約(火・木・金)

所要時間約1時間

10:30～、13:30～、14:30～、16:00～のいずれかの開始時間にて予約のこと。

下記連絡先まで必ず電話で予約を取ってから提出する

大学院係 野田、本田 052-744-2431(内線2431) または 052-744-2422(内線2422)  
(予約電話受付 10:00～16:00)

※ご予約のご連絡は大学の休日を除いた、実働日で10日前までの受付となります

※指導教員(原則:指導教授)の出欠の報告(欠席の場合は大学院係へご相談ください)

⑥研究科委員会(教授会)にて受理審議

指導教員(原則:指導教授)の出席は必須

(審議結果について問題がない限りは連絡しません。

問題がある場合は、教授会終了後に大学院係からご連絡致します。)

## 【受理審議後、合否審議まで】

### ⑦本審査

受理審議日以降に審査を受ける

申請者本人で審査委員の教授3名に連絡を取って個別で審査を受ける

#### 合否審議書類作成

審査内容を専用の様式の書類に作成する

その書類に、審査委員の教授3名と指導教員(原則:指導教授)1名の計4名の自署と押印を受ける

(専用の様式については⑤の書類提出時に記入例をお渡しして詳細を説明します)

### ⑧指導教員(原則:指導教授)とコレスポンドイングオーサーに、「剽窃に係る届出書」への自署依頼

剽窃チェックシステム※iThenticateによる剽窃チェックの上「剽窃に係る届出書」への自署をいただく様、依頼をする。

(※名古屋大学の教員は全員使用可能です。)

### ⑨大学院係へ「合否審議書類」と「剽窃に係る届出書」を提出 予約なしで提出可能

⑩研究科委員会(教授会)にて**合否審議**

指導教員(指導教授)の出席は特に必要なし

(審議結果について問題がない限りは連絡しません。

問題がある場合は、教授会終了後に大学院係からご連絡します。)

⑪大学院係が上申等の報告

医学部大学院係→名古屋大学本部→文部科学省→国会図書館

⑫学位授与・学位授与式

3月25日修了(短縮修了)のみ学位授与式を予定

## 提出するもの(課程博士)※HPチェックリストも参照のこと 教授会受理審議前に大学院係へ

(HPよりダウンロードする書類は、入力、プリントアウトのこと)

- 主論文:1編(主著の英文の論文)1部(タイトルページ余白に和訳タイトル、和名貼付)  
※最新バージョンで提出のこと(別刷り、出版社版PDFまたは著者最終原稿をプリントアウトしたもの)
- 同意書(筆頭著者が複数の場合のみ=※別紙8の7. でNoを選択している方のみ)※P9参照  
※学位申請者の氏名が1番最初に書かれていても提出が必要です。  
筆頭共著者・責任著者それぞれの押印が必要です。(外国人は押印箇所へのサインで可とする)
- 掲載予定証明書またはアクセプトメール(Webや雑誌に論文が未公表の場合のみ)
- 主論文の要旨:1部(生協印刷部に依頼したPDFをプリントアウトしたもの)
- 主論文の要旨を生協印刷部で作成したことを証明する生協印刷部発行の証明書:1部
- 学位申請書:1通(様式指定)
- 履歴書:各1通(様式5-1,5-2)
- 論文目録:1通(様式指定)
- 履歴表:1通(様式指定)
- 博士論文のインターネット公表確認書(別紙6) および  
公表可否に関する裏付資料(メール文、HPの著作権ポリシーのプリントアウト、または、  
著作権の譲渡に関する書類のコピー。) ※該当部分に蛍光ペンで線を引いてください。※P10参照
- 学位論文に関する情報開示:1通(別紙8)※P11参照
- PubMedのMEDLINE および Web of ScienceのSCIEへの掲載誌であることの裏付:各1 ※11参照  
HPの検索方法に従い、指定の画面を印刷の上、該当部分に蛍光ペン等でラインを引いた  
上で提出してください。

## 教授会受理審議後に大学院係へ

- 論文審査及び試験結果の報告(様式指定)
- 「剽窃に係る届出書」(様式指定2種類 指導教員用・コレスポンドイングオーサー用)



# 同意書(兼 誓約書)について

2019年6月5日に「申請要領」が改定され、2019年10月2日受理審議分から、複数の筆頭著者に係る「同意書(兼 誓約書)」の提出が必要となりました。

- 「同意書 (兼 誓約書)」は筆頭著者が複数の場合のみ、御提出が必要です。
- 学位申請者の氏名が1番最初に書かれていても提出が必要です。
- 筆頭共著者・責任著者それぞれの押印が必要です。  
(外国人は押印箇所へのサインで可とする)
- 同じ「同意書 (兼 誓約書)」の用紙への押印(サイン)が困難な著者が居る場合は、別の「同意書 (兼 誓約書)」の用紙への押印(サイン)を依頼して、最終的に合わせて全員分が揃うようにご準備ください。
- 押印(サイン)された「同意書 (兼 誓約書)」の原紙のご提出が困難な場合は、押印(サイン)された「同意書 (兼 誓約書)」をPDFにして印刷したものでのご提出も可とします。

# インターネット公表確認書(別紙6)について

## 1. 博士論文等の公表について

- 1) 学位規則により博士の学位を授与する者は、インターネットを利用して論文を公表しなければならない。
- 2) インターネットを利用した公表の方法について、名古屋大学では一括して名古屋大学学術機関リポジトリ(以下「機関リポジトリ」という)を利用する。

## 2. 論文の全文を公表できない場合について

- ① 博士論文の全文について出版刊行や学術ジャーナルへの掲載により公表に制約に係る場合又は秘匿すべき情報を含む場合など、やむを得ない特別な事由がある場合は、当該論文の全文に代えてその内容を要約したものを、インターネットで公表する。

- ② 研究科においてやむを得ない特別な事由があると認めた場合は、インターネット公表確認書(別紙6)にその事由を明記して提出。

なお、インターネットでの公表を期限付きで非公開とする場合は、公開が可能となる時期の明記が必要。

この場合、論文の内容の要旨及び論文審査の結果の要旨の2点については学位授与後に、博士論文の全文については公開が制約される時期が経過した後に公表されることになる。

- ③ 博士論文の全文をインターネットで公表しない場合、又は、一定の期間を非公開とする場合であっても閲覧に供する必要がある。本学では、博士論文の電子データをもって本学附属図書館窓口にて閲覧に供するので、全文を機関リポジトリへアップロードされる。

- ④ 博士論文の公表は学位授与者に課せられた義務であることから、博士論文の出版や学術ジャーナルに掲載した論文をインターネットで公表する場合の著作権は申請者において確認が必要となる。

# 「学位論文に関する情報開示(別紙8)」について

## 1. 学位情報の開示について

1) 学位申請要領の改訂により、2016年10月以降の受理審議該当者より、学位申請者は、「学位論文に関する情報開示(別紙8)」の提出が必要。

指導教員(原則:指導教授)の自署および押印を必ず受けて、学位申請書類の提出予約日当日に提出。

## 2) 開示内容

- ・専攻名、専門分野名、氏名
- ・論文タイトル、雑誌名、巻・号・ページ詳細、発行年月、著者・共著者名(全員分)
- ・PubMed【MEDLINE】への登録の有無(無の場合は創刊年などについて)
- ・Web of Science Core Collection(WOSCC)【SCIE】への登録の有無(有の場合はIF、無の場合は創刊年などについて)
- ・単独の筆頭著者か否か(equal contributorsの場合は貢献詳細について)
- ・学位論文のcontributorsの開示欄に、学位申請者が、論文もしくは論文ドラフトを書いたことが明示されているか(明示されていない場合、論文執筆への貢献詳細について)

## 2. 申請条件について

1) 2018年4月の受理審議該当者から、原則として、学位論文は、

PubMedのMEDLINE、かつ、Web of Science (WOS) のSCIEでの掲載(登録)誌への掲載論文のみ可となる。

PubMedのPMCや Web of Science (WOS)のESCIでの掲載(登録)誌への掲載論文は不可とする。

※参考(HPにはURLのほか検索方法を掲載しています)

PubMed(MEDLINE)への登録の有無の確認 <https://www.ncbi.nlm.nih.gov/nlmcatalog?term=currentlyindexed>

WOS(SCIE)への登録の有無の確認 <http://mjl.clarivate.com/cgi-bin/jrnlst/jlresults.cgi?PC=D&Alpha=A>

PubMed(MEDLINE) および Web of Science(SCIE)掲載誌確認方法

[https://www.med.nagoya-u.ac.jp/medical\\_J/graduate/pdf/Medline%2C%20SCI%2C%20SCIE.pdf](https://www.med.nagoya-u.ac.jp/medical_J/graduate/pdf/Medline%2C%20SCI%2C%20SCIE.pdf)

創刊年の確認 <http://www.ncbi.nlm.nih.gov/nlmcatalog/journals>

IFの確認 <http://admin-apps.webofknowledge.com/JCR/JCR?PointOfEntry=Home&SID=U1KWIXeGFuhGkXs86NP>

# 学位申請に関する注意事項(全般)

- 雑誌社からの論文のアクセプト
- 締切日厳守
- 研究発表会での論文発表
  - 発表の翌年度の4月から起算して2年以内の受理審議までが有効期限 ※参考 申請要領
- 学位の合格には2回の教授会審議が必要  
(1回目の教授会への指導教員(原則:指導教授)のご出席は必須)
- 申請書類提出(要予約)所要時間約1時間

火・木・金

10:30～、13:30～、14:30～、16:00～のいずれかの開始時間にて予約のこと。

大学院係 052-744-2431 または 052-744-2422

(予約電話受付 10:00～16:00)

※ご予約のご連絡は大学の休日を除いた、実働日で10日前までの受付となります

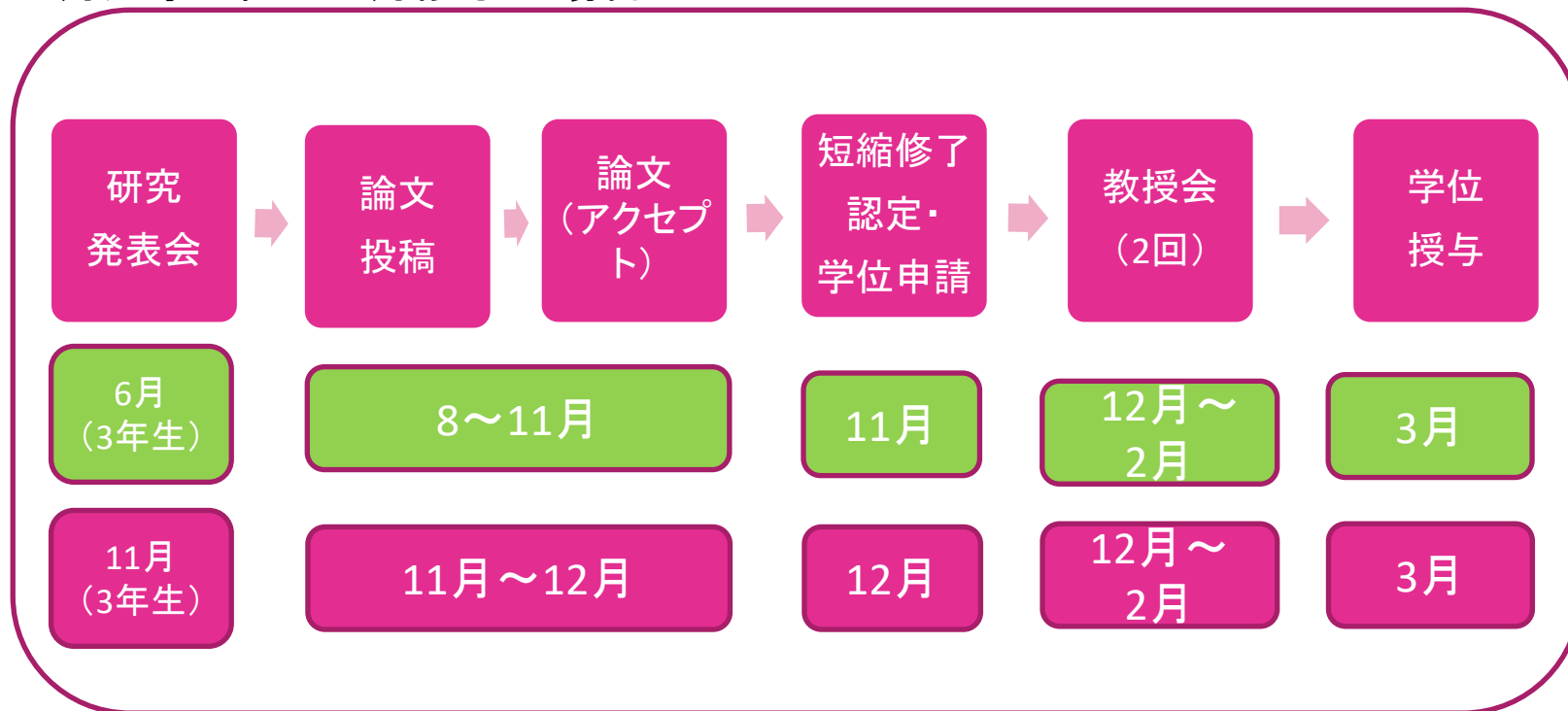
- 申請要領・様式  
医学系研究科ホームページ

[https://www.med.nagoya-u.ac.jp/medical\\_J/graduate/apply/degree/](https://www.med.nagoya-u.ac.jp/medical_J/graduate/apply/degree/)



# 短縮修了スケジュール(3年～3.5年) (2019年度入学者まで)

## 4月入学3年生 3月修了の場合



## 4月入学4年生 9月修了の場合



# 短縮修了について(2019年度入学者まで)

## (1)申請資格

優れた研究業績を上げた者で、博士課程に3年以上在学(休学期間を除く)し、所定の授業科目を履修して30単位以上を修得し、大学院研究発表会を行い、かつ、必要な研究指導を受けた者

## (2)申請条件

指導教員の推薦を受け、短縮修了の審査を受けるために必要な書類を提出し、審査に合格した者で、次の各号に該当するもの

ア. 大学院在学中の成績が特に優秀な者 → 短縮修了の認定手続き前に行うこと。

イ. 原則として本研究科が行う大学院研究発表会(年2回実施)において、提出する論文の発表を行い予備審査を終えた者

ウ. 提出する論文は、次の各号に該当するもの。

(ア) 主論文は、本研究科以外の大学院へ学位論文として提出したことがないもの。

(イ) 主論文は、原則として印刷公表したものであること。ただし、印刷公表未済のものでも発表機関の受付証明書又は掲載予定証明書添付のものは、この限りでない。

(ウ) 主論文(主著の英文の論文1編)は、一流の英文誌に掲載(受理された場合を含む)されたものであり、かつ、その内容が学問的にも価値が特に高いものであること。

一流の英文誌への掲載は、原則的にはファーストオーサーで2編以上とする  
が特に短縮修了要件に該当する英文誌へ掲載された論文があれば、この限りでない。

※特に短縮修了要件に該当する英文誌へ掲載された論文とは、1～3年次在学中に当該英文誌のインパクトファクター5.0を超えたもの、または、本研究科委員会で定める短縮修了要件該当論文誌一覧に掲載された英文誌に投稿し公表されたものをいう。その一覧はHP掲載のとおりとする。

なお、この一覧は、毎年見直し変更することもあるが、在学期間中に本研究科委員会で定める一覧に一度でも掲載された英文誌上での公表であればよい。

### ※短縮修了条件の変更について

ファーストオーサーで一流の英文誌への掲載2編以上での申請の場合

**2018年4月の学位申請受理審議該当者**から、第1著者英文論文2編による大学院短縮修了申請は、**2編の論文の掲載誌のインパクトファクター合計が5.0以上の場合のみ認める**。インパクトファクターは大学院在学中の最高値を用いる。

新規発行誌のためにインパクトファクターが未収載の場合には、短縮修了申請時に別途申し出ること。

### (3)指導教員の推薦により短縮修了の審査を受けるために必要な提出書類

ア. 指導教員からの「博士課程の修業年限に関する特例」による推薦書:1通  
様式は医学部HPメインメニュー→大学院教育→院生へのお知らせ→短縮修了についてよりダウンロード出来ます。

[https://www.med.nagoya-u.ac.jp/medical\\_J/graduate/apply/short/](https://www.med.nagoya-u.ac.jp/medical_J/graduate/apply/short/)



イ. 研究業績目録:6部(任意様式)

○著者名 ○原著名又は著書名 ○発表雑誌名又は  
発行年 ○巻・頁・発行年

※上記項目を網羅していること。

ウ. 主論文とする原著:6部(2編で申請する場合はそれぞれ6部)

(未印刷の場合は、論文掲載予定を証明する書類及び原稿の写)

※ 学期の途中で短縮修了をする場合で、授業料の納付についても当該修了月分までの納付を希望する場合は、4年生になる前に(3年生の間に)短縮修了にかかる書類を全てそろえて提出すること。

**注意)** 2020年度以降入学者の短縮修了については以上の内容が当てはまりません。

スケジュール及び申請方法等は後日HPでお知らせいたします。



- 学位申請関係書類掲載先(課程博士)

医学系研究科HPメインメニュー

→大学院教育→学位申請手続→課程博士

[https://www.med.nagoya-u.ac.jp/medical\\_J/graduate/apply/degree/](https://www.med.nagoya-u.ac.jp/medical_J/graduate/apply/degree/)



- 学位申請お問い合わせ先

学務課大学院係(平日10:00-16:00)

052-744-2431・2422

mail: [phd.med@adm.nagoya-u.ac.jp](mailto:phd.med@adm.nagoya-u.ac.jp)

- 短縮修了お問い合わせ先

学務課大学院係(平日10:00-16:00)

052-744-2422 内線5223

mail: [med@adm.nagoya-u.ac.jp](mailto:med@adm.nagoya-u.ac.jp)